Leading the World with Trust

ベトナム保健省と JICA、遠隔医療を通じた医療人材能力向上体制強化プロジェクトをスタート

2025 年 7 月 8 日
国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

7 月 8 日、ハノイ市にて、ベトナム保健省（MoH）と独立行政法人国際協力機構（JICA）は、技術協力プロジェクト「遠隔技術を活用した医療人材能力向上体制強化プロジェクト」のキックオフ会合を共催しました。

本会合には、保健省副大臣であり国家医療評議会の議長も務めるチャン・ヴァン・トゥアン教授をはじめ、保健省の各部局、ラオカイ省（旧イェンバイ省）保健局、国内の主要高次医療機関の代表など、JICA ベトナム事務所所長の小林洋輔を含め約 50 名が出席し、プロジェクトの方向性と活動内容の確認が行われました。

冒頭で副大臣は、本プロジェクトを通じて遠隔医療の基盤が整い、質の高い医療サービスへの公平なアクセスが向上され、特に地方や山間部に暮らす方々にも医療の恩恵が届くようになるといった期待を述べました。

続いて、プロジェクトマネージャーを務めるズオン・フイ・ルオン保健省医療サービス局（MSA）副局長が登壇し、本プロジェクトでは JICA による協力のもと、遠隔診断やオンライン研修といった臨床技術の向上だけでなく、遠隔医療の運営・制度面を含めた中長期的かつ持続可能な制度設計に注力することが示されました。また、本プロジェクトは単なる IT 技術の導入のみならず、ベトナムの医療の未来を見据えた戦略的なデジタルトランスフォーメーションの取り組みであると述べました。

JICA ベトナム事務所の小林洋輔所長は、保健省、ラオカイ省、JICA 及び医療施設との連携がプロジェクトの成功に導くものと確信している旨、また、MSA のリーダーシップへの期待を述べました。

会合では、まず MSA からプロジェクト全体の概要が紹介され、その後プロジェクトの田中豪人チーフアドバイザーが 2025 年の活動計画を説明しました。続いて、MSA、健康保険局（DHI）、国立保健情報センター（NHIC）、ラオカイ省保健局の代表らが、本プロジェクトの実施におけるそれぞれの役割と責任について確認しました。

本プロジェクトは、「2025 年までの国家デジタルトランスフォーメーションプログラム及び 2030 年までの方針」および「2030 年までの人々の健康の保護・ケア・促進に関する国家戦略（2045 年ビジョン）」と整合するものであり、上位・下位医療機関間の遠隔連携を推進することで、地方部における質の高い医療アクセスの改善を目指します。

本プロジェクトの中心となる活動は、医師間（Doctor-to-Doctor：D-to-D）による遠隔医療のモデルであり、各レベルの医療従事者間の臨床判断支援および知識移転を促進します。北部地方に位置するラオカイ省においてパイロット活動が実施され、遠隔医療の実用的な展開の基盤となることが期待されています。これにより、へき地住民の健康と福祉の向上を図るとともに、全国規模での遠隔医療普及への道を切り拓きます。

Leading the World with Trust

閉会の辞では、JICA 人間開発部の吉田友哉審議役より、関係機関への感謝が述べられるとともに、本プロジェクトが D-to-D 遠隔医療モデルを通じて医療格差の是正に資する可能性が強調されました。また、ラオカイ省におけるパイロット活動が全国展開への礎となることへの期待が示されました。最後に、関係機関が協力して本プロジェクトの円滑な実施とその持続的な成果に向けて取り組む決意を新たにし、会合は終了しました。

お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班　土本 周
Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 166) E-mail: Tsuchimoto.Amane@jica.go.jp